

雙魚堂日誌

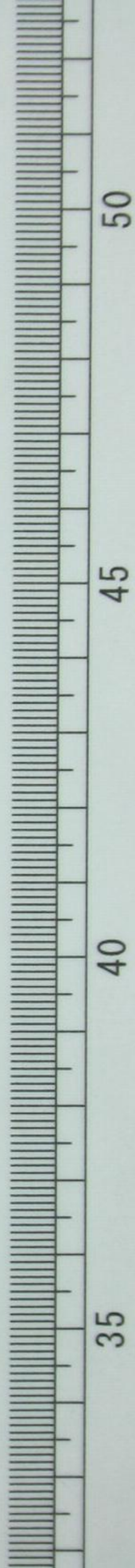
大正十二年九月
廿五日以後

特別

14

1919

588



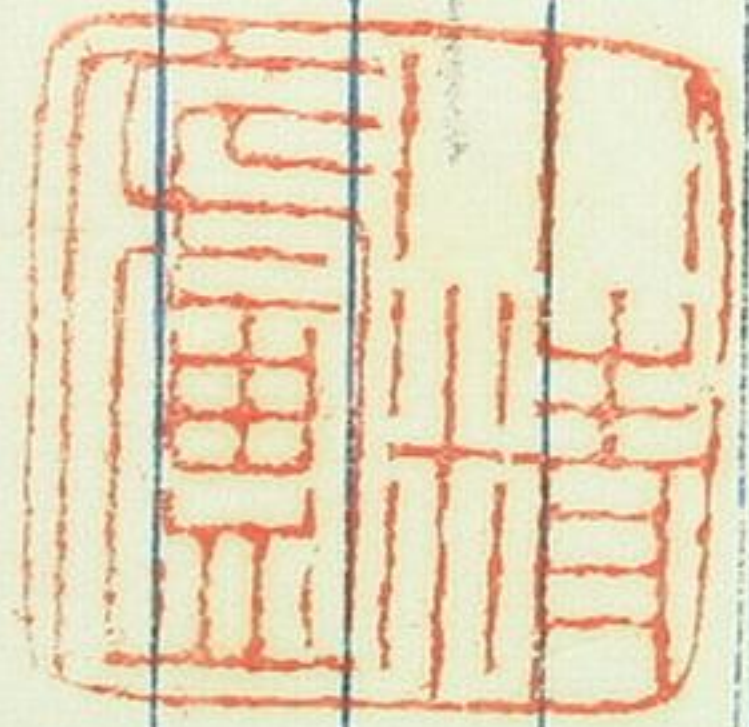
唯魚書日誌

震災記

大正十二年九月廿六日火降

九月

廿六日



晴無風、附近に爆発の起り、戸牖震動あり、多額に紙を破り、
 紙を破り、後、奥の院より六分、村井先生、
 衛部と倭艦に、元、應東一千人、上りの船、
 と、火火係、陰、今社の、海、
 を出す、能、力、ある、もの、を、
 お、奉、り、の、お、も、と、
 云、山、仙、其、海、の、修、理、に、他、其、堂、の、工、兵、百、名、あり、

そまもぬる因縁也、焼結、地境争起、起、此、四裁判
と申しき之んを決すと云ふ、本所湯の神田等、江戸見
の各住地、区役所治るべき、戸籍簿馬有、帰す、心
確るる、之、精、心、治、を、復、判、取、し、る、也、尤、七、新、子、也、大、工、入
来り、各、部、の、修、理、を、为、す、電、機、ノ、ト、ル、甚、至、成、り、毎
日、破、壁、に、修、り、付、又、修、り、付、为、り、生、其、糊、も、費、す、六、七
升、此、も、其、と、と、幸、也、本、所、を、親、此、地、境、を、判、定、
備、入、ら、し、し、居、在、り、の、植、木、所、と、家、人、修、理、
決、す、此、修、理、を、と、え、心、家、事、と、押、入、り、納、め、る、こ、と
能、り、り、思、ふ、事、能、無、四、五、に、教、亂、と、為、電、機、災
あり、り、候、事、も、多、し、内、庭、の、修、理、の、代、り、
と、壯、丁、四、人、一、日、を、漸、々、復、舊、及、所、を、の、見、る

状、に、好、し、差、札、の、も、り、き、取、出、さ、ん、と、し、印、刷
こ、り、枚、印、刷、を、依、頼、す、洋、装、本、数、冊、を、整、理、す、
各、冊、を、接、接、充、つ、泥、土、中、に、出、冊、を、於、け、り、如、し、出、中
工、務、店、を、支、店、(内、幸、所、二、三)より、復、利、瓦、三、卷
持、ち、来、り、こ、の、と、谷、村、一、大、り、廿、五、を、と、寄、り、せ、
か、ら、り、居、在、り、の、得、こ、こ、と、此、後、一、時、を、以、て、
漏、を、防、ぐ、こ、と、を、得、る、好、都合、也、此、の、便、利、瓦、を、
ア、ス、フ、ア、ン、ト、を、以、て、寄、り、し、る、こ、の、一、卷、
又、送、り、早、速、本、所、の、各、前、面、の、居、根、を、整、理、す、
の、部、向、に、及、ぶ、三、田、村、高、島、林、瑛、等、早、く、お、久、江、城、
一、と、早、大、出、版、代、理、の、協、助、を、以、て、其、の、事、
居、根、を、又、如、め、と、来、り、一、二、三、所、を、毎、日、の、手、前、を、

早稲田大子と云羅山見義として金七の因贈り
来り、五時半に地震あり、交動と云、可なり、
と云、三十四の由あり、七時二十分迄前
より地震あり

二十七日

時、今朝の地震、地を揺す、地中の粒、
を月限撤廃、其代日本地所を再割引を
す、又地震、田敷、千三、
の配給、米穀の府、
掠奪、
横濱、

取し、
府川の起、
漸やく、
修む、
午後、
耳の、
あ、
の、
土、
と、
つ

おと掃除し初めおとをり、京都其地
七、八、九、元氣状、到る、其に答礼の状をぬす、浴
兼、おと、星、バラウりのトタン、根、板、今、る、ラ、ム
入、り、家族、を、市、中、に、出、し、て、披、素、せ、し、む、場、乙
人、者、出、家、シ、ヨ、ル、ツ、に、托、し、て、置、入、ん、の、ビ、ア、ノ、震、前、に
到、達、幸、ひ、無、事、を、得、な、る、つ、も、右、引、取、の、交、珠、の
以、免、光、シ、ヨ、ル、ウ、支、人、方、へ、有、る、往、来、亦、言、り、中
代、至、十、三、百、圓、と、引、換、に、所、る、都、合、ん、從、來、の、ビ
ア、ノ、は、即、心、人、と、し、三、百、圓、と、賣、却、の、苦、也、ト、タ、ン
板、披、素、の、結、果、終、に、得、る、結、果、も、奥、田、手、花、見、の、
と、來、る、午、後、又、雨、あ、り、奥、田、の、後、に、田、也、
積、滿、り、ま、り、も、一、盆、を、遂、げ、し、つ、と、ま、り、口、内、即、刻、に

社、も、ホ、い、紙、十、五、枚、と、い、い、南、方、披、換、確、り、代
用、に、充、て、ん、と、い、い、也、今、の、勢、也、披、換、と、い、う、け、補、に
舊、而、目、に、復、す、り、浴、湯、の、局、根、便、利、を、い、ひ、て、張、り
読、書、尖、物、大、工、等、に、家、族、壯、丁、を、考、へ、る、こ、と、也
幸、し、先、ん、と、一、家、を、新、築、し、得、る、事、の、可、き、を
具、し、借、う、ら、ん、事、急、そ、う、也、成、る、北、向、三、十、の、直、に
積、禮、の、こ、と、の、感、あ、る、と、云、次、紀、諸、志、等、信、光、大
坂、と、い、い、又、元、二、十、の、日、采、女、江、七、十、の、日、一、時、印、の、を
室、を、移、し、し、つ、の、大、体、舊、所、に、復、す、三、時、印、又、一、震
夕、刊、の、報、に、司、法、南、島、の、積、査、の、様、を、大、震、後、の、大
哭、い、る、三、十、四、個、所、も、起、り、由、六、ヶ、所、故、也、と、い、
扱、一、名、者、な、り、り、家、人、下、婢、借、り、各、々、荒、子、の

年高も甚く、夜に今郡乐坂に物を焼く、田原を
：麦酒を焼く

○十月

一日

皇祖税物免施行勅令出、火保一部拂戻の事、此の
決定、今朝の報知あり、持るる、九月廿六日の酒
賣り、死體の事、見さん、此の焼死、七番七
千八百三十八、行方不明、四万二千五百四十八、罹災者
の概数、二万三千八百五十二、全潰、戸数、五万九千
八百四十二、半潰、六万九千二百二十三、焼死、三十五石

る六十八、重軽傷者、十萬三千、死者、横濱、其地
をふる、(一)総損害、る億三上り、郡部、(二)難し
いもの九十、萬人、院、二、骨、比、板、渡、三、千、番、田
又震災、大地、救済、の、以、免、臨時、東京、衛生、成、総、督、府
を、設立、し、祝、意、司、全部、を、代、へ、人、と、す、と、ら、あ、大、工、一
人、事、り、修理、を、つ、と、あ、る、此、の、如、し、小、栗、森、江、丸、江
ル、の、大、丸、吳、船、店、に、備、入、を、印、を、と、り、記、帳、状、を、書
き、出、版、部、に、も、う、と、せ、(三)田、野、色、を、頼、み、小
切、手、清、高、三、日、し、ま、り、う、と、口、ア、一、引、取、の、為、の
七、千、三、百、圓、を、寄、附、し、(四)村、口、中、津、り、事、り
神、田、震、災、の、慘、を、説、く、半、夜、を、大、工、清、家、の、境、外
の、板、堀、を、修、理、す、由、子、病、を、大、工、田、一、人、あ、る、

毎の力の能力大、とらふも亦切とら出たるも
 危をぬく筋を、相換遊曲量の結果十数哩に
 亘り四十尋陥没の事、復々公表せらる

二日

雨東海流の、勢け全しぬ三石川引出で、大工一人
 の、浴場の海り又た下り又ことを結ぶ、中江各所の小破
 損を記す、建築物破壊の惨状を記する、起る十時
 半又地震あり、西雅北氣分尚漲り月形うたんとす
 未だ何時も手と着く、臨海、河友川上流より
 元島に、さるる物と記す、不棄故に大丸吳股座、傳
 へる、三のき、自身元保成入とらる、文三海和ら、未ら

の日、三のき、方とて、福免、船、新、輸入、ピア、を
 引取らる、こら、こら、の、書、印、へる、搬出、末、地、の
 書、印、代、を、三石川、也、六七年、前、地、の、出来、を、と
 三石川、を、買、入、ら、る、事、を、破、損、物、の、つ、ら、す
 元、復、に、書、り、得、ら、る、事、を、震、後、出来、を、の、得、易、に、と
 する、事、也、幸、也、も、西、雅、北、氣、分、尚、漲、り、見、る、と
 未、だ、内、子、病、を、醫、治、せ、し、め、ら、る、事、を、記、す、ら、す、雨
 戸、を、ボ、リ、し、ら、る、事、を、記、す、ら、す、浴、場、の、破、損、の、事、を、記、す、ら、す
 七石川の槽に入る、今、復、一、つ、使、未、ら、る、事、を、記、す、ら、す
 中所、獲、佛、像、并、佛、典、寸、卷、二、佛、像、等、を、一、枚、唐
 詩、を、記、し、ら、る、事、を、記、す、ら、す、和、歌、を、記、す、ら、す、事、を、記、す、ら、す、
 昔、の、茶、室、を、一、隅、ピア、を、置、き、縁、下、を、檢、査、す

土井重典のつゝ、腐朽の家を修理す。和久産
平、早稲、東大久保、徳久を報す。佐平、僕前
日、額田千倍、未だ、つゝ、十田平南と、と、夕刻
つゝ、南朝、今、大工の仕立、畢、四五見、森、状、利
△大工、晩、と、つゝ、十田、祝儀、と、す。

三日

陰、坂口、献、去、身、功、一、身、上、し、つゝ、を、云、ま、す、一、層、井、一
元、島、に、ま、る、と、ヨ、ル、ツ、に、購、入、を、托、し、た、る、に、ア、人、代
至、千、三、百、田、光、持、冬、田、人、代、理、コラ、ソ、ツ、ツ、ソ、ツ、ア、入、交
付、今、日、ら、と、玄、關、前、の、收、丸、古、木、材、等、片、付、と、着
手、寝、室、障、子、張、器、畢、新、夕、紙、の、報、す、早、京

市の人口今も、万三千、小石川、甚、難、十八、万、牛、之、之
の、次、き、十七、萬、俣、し、而、難、高、と、る、に、合、す、又、城、を
省、速、早、く、六、十、萬、田、の、ハ、ラ、ツ、ク、建、設、と、着、手、す、と
京、都、の、谷、村、天、印、と、出、札、を、お、す、一、層、を、お、す、此、ア
ノ、午、後、松、木、と、引、お、入、す、あ、ら、う、海、し、き、る、三、時、に、植
木、を、お、す、塙、松、の、修、理、と、取、こ、る、右、に、付、材、料、
竹、杭、荒、千、一、購、ひ、入、る、つゝ、つゝ、の、ま、の、ま、の、七、株、
成、を、し、早、大、維、持、を、し、見、る、金、七、十、田、路
り、来、る、金、十、田、家、用、と、し、つゝ、内、子、に、交、付、見、り、力
り、自、轉、車、一、台、と、解、の、價、を、廿、五、圓、也、出、版、印
も、し、十五、日、十二、田、五、十、株、入、に、付、株、主、統、合、を、開
く、の、道、牒、到、る、つゝ、印、割、合、地、と、なる、重、役、合

の通知者来る。又新。ニアノを以て。一時甚重
を異に。撤入。あつた。四。拂。ハ。二。三。五。江。丹。泊。今。松
一時の激震あり

四日

七月五日。コニス。又。ニ。テ。ノ。ル。若。烟。山。寺。大。中。の。新。出。列。
植。本。屋。二。人。事。の。捕。を。取。り。前。日。捕。士。事。の。内。子。を。診。察。
十。時。交。の。捕。を。予。預。子。に。取。り。今。後。の。事。を。協。議。
一。午。時。を。真。つ。し。七。一。時。出。放。部。に。到。り。大。隈。侯。侯。
偏。轉。の。事。を。曉。め。三。時。時。時。也。石。在。中。の。早。大。敷。松。坂。
林。葵。未。去。事。の。功。其。功。柱。の。中。の。母。の。十。七。回。忌。
法。要。修。物。を。取。り。来。る。夕。刊。ハ。報。す。火。保。に。果。也。

す。示。威。運。動。禁。止。さ。る。と。甘。物。大。尉。の。刑。を。輕。め。せ。よ
との運動漸ゆく。是。等。ん。と。ん。と。ん。地。租。委。任。の。問。題
と。震。災。の。結。果。律。規。收。入。減。少。を。お。流。し。を。さ。る。

五日

晴。内。子。午。前。休。温。三。十。八。度。五。分。海。面。の。も。短。服。着。を
と。と。と。直。平。の。午。形。一。件。震。災。前。二。片。付。く。事。増
田。并。護。士。の。裏。出。入。の。事。余。に。七。日。に。好。め。う。さ。ん
ハ。法。律。の。午。時。を。後。ち。者。一。事。の。植。本。屋。一
人。来。り。捕。取。を。以。て。午。前。中。成。る。午。後。山。田。侯。等
園。中。に。捕。取。を。補。め。出。放。次。の。間。壁。上。の。結。核
病。の。風。を。捕。取。の。バ。ラ。ウ。ク。多。少。の。手。入。を。取。る。

新報紙に報ず。昨年の智利地震は、此を油をよへく南米
に油をよへくベリリ、ウイリ、大教授と報ずべき報生
をよへく、と曰く、アンデス山、東方に向つて移動し、山脈
の山脈は北方に向つて移動しつゝあり。智利の地震も
日本の地震も、この原因するものとお授は、南米の
アンデス山脈を一世の移動するに、マートン、マートンの
割合が、年々南向き移動しつゝありと、一説しと、揚子
本邦地震も、このアンデス山脈と太平洋と
衝合し、此の海溝中にて、其の衝合に、侍士の大地
震らうとの、此の縁を、震れり、今次の大地震は、地
つに、侍士の地、福をよへく、果して、め、この感する、漸かく
内報すること、を、船や、重忠、羅り、家も、ゆくと、大なる

院に入ると、工兵隊の家屋、残骸、爆発も、あるが、
残骸を、しと、既、此の、爆発、三、三、三、三、
と、達すと、いふ、工兵、取つ、と、得難き、
枝といふ、又、本所、縁、此、土地、一、帯、一、尺、下、
と、見、す、と、開、く、乗、り、と、震、災、地、を、著、し、
年、形、一、件、三、日、文、三、を、一、七、任、平、を、訪、り、し、
問、前、田、東、津、大、爆、発、起、り、戸、障、子、震、れ、
ハ、報、ず、災、後、堅、固、性、狂、人、追、つ、つ、生、ま、り、
流、れ、と、来、る、と、為、患、り、と、お、り、と、い、ふ、
お、り、と、い、ふ、お、り、と、い、ふ、お、り、と、い、ふ、
此、火、甚、し、と、お、り、と、い、ふ、お、り、と、い、ふ、
お、り、と、い、ふ、お、り、と、い、ふ、お、り、と、い、ふ、

より、午前十時維持あり、午後九時、
震多し、高島使所に激し、
皇路のりも振く、河もさく、
雨降り出

六日

雨降烈の爆音、
令始る、
二十回、
平穩、
坂の五、
若さ、

初、
濱の市街地、
す、
至四十、
積り、
郡存の、
少、
多、
二、
更、
大

七日

而、又爆震、楯を打破、早く起き、三つ、朝、
震、災、約、録、を、著、す、種、村、出、版、部、の、要、件、を、
取、次、に、七、献、書、を、記、し、を、誌、し、七、山、の、形、の、入、
二、本、取、次、右、手、所、田、忠、次、一、二、間、を、投、す、田、中、次、
郎、島、の、震、災、二、歴、元、を、告、別、式、二、つ、七、代、人、を、出、す、
午、後、前、田、の、代、診、中、山、身、リ、由、子、を、診、す、文、三、を、午、後、
再、ハ、在、平、方、の、老、る、例、の、手、形、二、件、一、の、者、也、郷、人、
佐、原、忠、三、ら、も、も、早、大、一、回、を、著、の、形、二、出、す、身、一、書、
を、松、井、郎、次、二、著、す、池、田、氏、一、原、由、始、し、助、見、家、二、
来、る、身、人、の、法、監、會、保、險、の、損、害、を、後、つ、を、示、合、社、の、事、
約、約、十、五、条、目、保、險、料、支、拂、約、二、十、条、前、年、海、域、の、際、二、
法、拂、ひ、を、十、七、条、目、二、も、ヤ、一、大、也、合、社、を、身、中、の、事、を、著、す、

この心取し、勝あるは、是れ、知ると、云、

時、町、内、子、平、穩、九、時、餘、震、又、人、を、驚、か、す、因、り、被、座、
二、杞、し、る、十、數、個、の、物、を、り、元、り、戻、す、十、時、登、校、一、
二、の、事、を、著、す、又、維、持、員、會、二、臨、出、講、の、五、人、解、任、
を、決、し、治、由、二、引、起、し、依、令、を、精、保、津、南、維、七、五、
事、務、員、三、十、名、を、拘、法、此、年、南、金、七、を、著、す、
の、身、費、を、於、録、し、る、身、の、生、活、費、千、七、百、人、臨、終、月、就、
款、十、二、萬、也、
現、村、改、正、等、を、決、す、十、二、時、切、書、不、
在、中、柱、五、十、印、大、為、唯、夫、才、本、治、山、本、書、店、主、人、身、
活、全、焼、り、こ、し、を、誌、す、
丹、羽、大、尉、大、杉、榮、三、の、身、二、

小兒殺害の跡跡詳報新報紙に出づ。小兒坐三斗
被訪午後天氣曇り雨を信ず。同少時三時許に
什美の果十七個戻り来りたる(是)片付方三時
を移す。

九日

而して此の跡ハ甘粕公判の物候を報し小兒を殺し
ざる自分有るかと思ふ。被害の告白を責し得る為り
迷宮又入る一波濤を生ず。次公判十八時時湯
印刷会社の重役人等。此の事。工事中の三階工場
清美後のものを協議し二時時湯。人等務りつき
脇来泊。不在ヤ。林葵。未夫。年次。真。此。桂。次。印。

十一

此状を以て、又日本國の領地を以て、被問ぬるの事
席こと已る、在亦手形一件、此文三を以て、方保
護士官、考す、前田博士来診、伯林の、池田林儀
の、郵也、別る、大村を、以て、此、殺るん、小兒、宗、一、真、犯人
自首(内志田上等)すとの、形、の、形、出づ、此、主義
者殺し、問題と、是、に、重大と、考す、(其、故、向、考す、) 衆
衆の、爲ん、に、殺害を、遂、げ、隠蔽し、て、胡、麻、比、ん、と、考
也、也、あ、上、官、の、諒、解、を、得、と、考、す、(其、も、考、す、) 小兒、を、未
也、の、四、無、に、居、る、と、考、す、(其、も、考、す、) 國、際、の、形、を、考、す、(其、も、考、す、) 死、ん、と、し
つ、ち、考、す、(其、も、考、す、) 神、を、考、す、(其、も、考、す、) 物、を、考、す、(其、も、考、す、) 洋、酒、を
仰、け、と、考、す、(其、も、考、す、)

十日

明伯木宛烟山方方中と郵也を見るす又木葵未夫
ニ投筒十時印刷局を以て到り休ま印一内を
伸お解を令すも雷が突に倒落りしける工場毎
築りる音見を徴す十二時方田橋長の只集り
ま大隈命終に到り田中橋長及本日比田早達増
田とせこの後大隈家、御存するも七十五第田
潤魁ニ付内議の案指成案を得坂本日早
達を委負とすも不日候三行ニ文海のりす決ま
木葵未夫と令すも田吉校長とすとの心得方を云
すす元凶場合とすも田吉校長とすとの心得方を云
すすの論中の中木葵未夫の菊池三九郎の罪に接す

電元方面に可成が大活動をやつてあり此事件も才二
の甘物事件のこととすこのや、労働組合の首領平塚
外某にたをを召さ令騎兵に斬殺しに構ふじある
ことう始めに誘ふ事あり、信じて居る事あり、おらるを以
府の御慶より連中と令するのドサクサ場に入片付
けられた例はいくつもあつた、甘物と此件を併せて
つて目立の出来事とあらう、その曖昧裏に
舞うる事とある、追々と別る心あるか、或は物
罷り来る心、廿二夜娘時代の虎と文政の世のや、
あり得ることか起る、陸軍にありする清溪果して
孝何夜への果る、白羽の九時迄に追つて去り、
二時頃風烈一時頃を漸かくし、雨滴を捨す

つたる家へ起き立つ

十一日

雨収まり天雷、朝早急設ハテツク内の雨漏を修理す
杉の木を伐つ以て多量と後念の別荘を修す、岸を
束ね、草抜をも維持し、醸造の見あき直加若干
を定めて来る、菊池之九印の告別式、臨時の書典十日
持参、交賀切耳別在被言の報告を受く、坪谷
美四郎又久と芳ツキ等の町内を改修会評議大会
の決議を報告す、前四代於事、多量と書典九
日米幸徳別達、四日思ふ所状あり

十二日

小雨、朝早家へと木の片が、没致す、正午止く雷
鳴り驟雨あり、午後間、急せし難報を著し、時
を移す、日本名油社井手君徳等の通帳別、出版
部より十日株金拂入、このききありし来る、夕刊報
ハ報す、焼跡の灰の分量を報して四、雨後二方七
已了、灰燼の厚さ八寸と見て約二十著五方坪之れを三
萬七千立方坪の九ビル、比する、と其後とさる、之れを
報し、此より五、四、五、百、萬、坪と

十三日

晴、今朝多量と書典を後念の別荘を修す、修報を著

す村にまわらう来る者あ代の内敷る同治す、年終を
せうとぬる、所末坂の拍と種、前田代治来終、毎
念りし杉の木十三本伐採おろさう、真時久しけり
果物真仰をまう来る、文三連の破屋の上、修り
こつと免各所の院漸やく敷了、燈電燈漸やく四
復、涙あふめ説を談ひ、

十四日

日曜

昨、新米感胃の製味あり、ハハと雷泣りも今秋の
要件を治す、本雜録を著し、正午あり、午終の
と後、秋り、一冊清り、町舎、申出、豆キ、ト夕、板三
十枚漸やく手又入る、地價五十五圓五十八也、今津ハ一

す来也、川治生、今津迄より、震北、関する、穀、若
利、改上、山花、出状をふる、庭ま入る、ああり、つく

十五日

雨、朝、月、雲、此、天、候、を、重、す、新、米、種、并、郡、治、より、夏、商
見、あ、ま、は、お、の、地、始、り、午、終、一、時、出、板、部、の、株、運、送
今、と、修、り、新、株、式、の、才、二、由、（中略）十二、田、五、十、畝、と
決、し、直、に、拂、込、む、こと、を、二、三、月、と、し、修、り、の、り、め、ら
と、北、海、道、の、異、敷、の、り、め、ら、と、し、今、と、拂、込、金、五、百、二、十、千
五、百、廿、二、千、と、し、同、也、ゆ、を、後、文、三、在、子、と、お、り、の
身、上、と、し、と、堀、澤、を、見、ま、り、決、す、前、田、代、士、内
子、の、修、り、の、来、候、一、時、午、終、の、後、候、に、後

不熟り山とあり二巻後果たし、いふを流石の操
候七流全部流し、をんをいふ不思儀なるを
いふ、世説と付いふも流石の流しと云ふの
ハ之を及ふと怒ひいふ不思儀なりし、今夜多分并
文三二日書り

十一日

時辰上弘危す、松井郡流真
崎桂治より、山状をいふ、流石をいふ、十時
を候、をいふ、下谷流石の焼け、此を巡見せんとい
出づ、江戸にも電車も、神内や所にも、此を
二十日元一時、午ラホラと、ハラウクをいふ、
と奇と並ぶ、禮をいふ、大七堆積の天燼、いふ、

片つ、いふ、果利、果を撲つ、須田町にも乗合
自動車の上、咆を流石に、利、此の二区、
災後初め、いふ、いふ、いふ、
と、いふ、いふ、いふ、
早や多くの役、いふ、いふ、
野の山の入り、いふ、いふ、
焼、いふ、いふ、いふ、
を、いふ、いふ、いふ、
七、いふ、いふ、いふ、
いふ、いふ、いふ、
此、いふ、いふ、いふ、
今、いふ、いふ、いふ、

不破七尾出得る程より、五重塔を多分北の三四の巻
 宇治をよりる程に、この山を樹木の如く葎の如
 り是に入りて寒し更なるを治るに、今、茶屋飯を店
 有り種々の具けまじり、物映意致、劇場、浴場、十二階
 此の次、残骸を燃焼し、煉化堆をり、樹木七尾迄も
 多く枯れ、被さるる多し、勅音前、戻り、更なる、葉
 合自動車、一乗り、形を、花前をるも、高塔
 工業の焼結を、遠く川向ふの本所の罹災の一部
 を遠見す、満目、土地区と異なる、予、銀座、
 出、時、十二時、頃、し、心、車、し、本、相互
 新行の焚、の一階、竹葉、燐、飯の、出、店、出、し
 なるを見、こ、入、り、於、此、の、予、お、い、と、畢、畢、し、

更なる、ゆ、し、丸、の内、ビル、デ、ン、グ、の、今、二、三、の、高、を、建
 ぶ、こ、こ、集、ま、る、廠、家、を、美、為、を、以、て、好、む、位、に、
 豪華、な、り、と、地、を、ビル、デ、ン、グ、の、前、も、露
 店、を、出、し、丸、郡、七、階、の、遊、道、を、物、の、本、永、に、
 入り、お、身、茶、を、喫、し、電、車、も、二、時、の、由、電、こ
 れ、を、災、地、を、視、る、本、二、回、の、記、と、る、予、後、後、突、如、雷
 鳴、と、な、大、雨、到、り、後、巴、五、三、時、之、地、震、あり、

十七日

新嘗祭

卯、九、月、九、日、未、回、の、朝、河、景、一、の、見、お、杖、打、り、九、時、物、を
 齋、し、一、段、五、歩、半、の、病、を、治、め、佛、の、内、を、言、ふ、文、
 卯、十、一、時、内、を、治、め、た、こ、静、し、余、の、早、大、出、版、部、と、り、

新比二株まゝ加へる田中、多子塔(平沢)田改本
多子塔(高田)と共ニ一株を欲(つ)せり協定を
多(く)論(じ)印(し)とす又一時印書、内務省(意)林(功)生(元)
松(董)を控(く)み、又(井)村(良)兵(衛)功、吉(野)山(清)心
院(と)三(澤)某(兄)由(未)了、難(保)を兼(し)て時(を)移
す、新(沼)の(高)原(庫)四(一)元(由)未(了)、里(本)欣(堂)(西)雅(の)
訃(列)す、

十一

昨大工二人有り浴室にトタン板を替(へ)る茶(居)在(居)甘(休)
を修(し)め、森(原)分(務)こつ(き)未(了)余(の)覺(意)こ(こ)り
之(の)堀(合)の徳(貞)一(詞)些(海)四(分)の印(副)物(出)未(了)三(十)

一(一)と十一(月)四(日)と五(日)間(高)が(学)院(の)大(体)操(場)の
を(修)め、七(連)の(湖)海(の)突(増)の(修)め、又(科)校
友(村)山(勇)三(東)功(出)港(神)五(分)の(階)子(其)他(七)修
不(全)三(日)四(日)の(修)め、材(物)(意)集(一)原(二)
を(修)め、十(五)日(七)日(其)修(場)相(を)打(ち)直(して)吃(茶)
種(を)お(ろ)す、向(子)の(病)漸(や)り(回)復(、向(心)初(めて)入
浴(す、二(十)六(日)日)也、去(月)先(き)り(修)没(入)口(を)修(え)ん、
大(工)着(手)未(成)

十九日

昨、在(果)五(二)人(大)工(の)新(沼)廿(一)細(青)を(修)め、又(向)心
久(寛)三(日)也、各(在)局(市)立(園)と(修)め、地(段)修

帰去を返り来る大工を引つこき云々の夜後
二夜六村井新折く二る山を登り古池来る者
代を内十五田揚し今より被服廠跡に松を干雲
の法要を言ふ有る際をて花環と帯祭料を賜
はる。八朝有感の日の氣味をて氣合勝れず終
日家屋文三来る神樂江巻石見おこす物と珍
る且つ石海ぬ一のもめの嫁し学家の不幸を感ふ
世界三人のふせ時死すと石海に見る歌を
す北城の折九日十一のち廿一日のち分道
舞さし来る同人の書奥探検記載やあり
まじりの注のりすへ来るおとを物別
の也主関候候入口成る

二十日

有感冒木金す里木飲巻の巻別式に銘を
状を及ぶ家入言国入に流す四の目掃を
珍中山来る内子寄るを病書を脱す伊
と命来る来る。書論巻を後み且つお
月十七のローレンダの書三巻三の法思
尖事おるを云くし来る。高橋義彦も
めえの事他の書お歴史地理一冊と
里の形を紙えん。郵便局も取
やく解法。行来あり

二十一日

以所、國冒、貯、金由、理、茶家の、備を、此、和
田、兼、者、と、し、東、也、又、日、本、回、の、級、場、と、し、事、也、木、場
好、尚、年、法、植、木、庭、手、台、代、我、靴、履、其、廿、五、日、拂、流、
段、高、格、雪、也、と、事、也、又、三、海、初、物、と、し、後、有、形、半、次
と、教、業、物、と、雖、也、又、田、原、也、と、洋、酒、を、仰、け、と、し、也

二十二日

時、皆、多、引、つ、き、善、意、の、四、目、備、を、理、し、今、の、成
二、日、本、石、油、向、島、へ、便、を、寄、す、内、山、省、三、年、法、難、紙
と、善、し、ま、午、後、石、油、取、一、高、功、長、女、の、取、つ、き、が、家
の、様、子、を、語、り、田、田、忠、流、も、電、話、を、七、坂、に、献、吉、七、山
口、銀行、に、採、用、す、と、件、三、年、云、と、し、事、也、其、二、坂、に、新

大

二十三

拂、地、産、有、り、時、山、以、味、一、種、村、家、へ、増、子、長、下、
来、賜、美、材、堀、江、源、を、交、二、事、の、中、子、を、瓦、五、百
枚、見、る、二、事、と、し、石、塚、三、中、を、物、を、貯、る、来、り、
室、六、四、中、一、百、餘、米、に、家、族、来、り、午、飯、を、食、す、浮
田、和、氏、と、り、事、也、又、合、衆、の、一、日、原、作、と、し、後、元、二、
七、海、邊、に、到、り、高、橋、義、彦、を、貯、る、と、し、日、本、舞、臺、
地、現、之、確、完、利、達、三、九、と、出、版、元、高、山、の、二、社、也、余、二
配、本、二、是、以、と、燒、火、し、る、也、と、し、地、方、を、遊、遊、し、来、
り、也、也、去、四、の、雜、誌、二、勤、也、と、し、女、を、集、め、と、し、事、也

千二万頁の大冊也巻紙の題署之余の揮毫也
和四葉を高く義彦之也此を以て其の北田直記九月廿
六の死云の報到るに不二新少教寺合一括し之利
達神事及之散束物と雖も、其好も無花果餅の味
喰法、和ふそきさう柿と卵を来り、文三海和も来り、
幸田重翁九月廿九の大坊を死云葬式未上月下
旬早業を言ふ由の報を得、終の接客に任じ

二十四日

兩岩田一郎の訃到る、新録を著し、時を去り、阪上
翁代人より注釈を施す、程村宗八、耳功、小網と松井
を返り来り、七のち、皆の魁とせ、虎厨六の、振山、海

貴方の福垣伯法、京都の鳩、生熟、谷信吉、或は、川
リキ、板十五枚、購入、入る、此價、廿七圓也、畑田保次、奥
田、昔、彦も、是、ある、来り、

二十五日

畑田保次、奥田、其の、彦、部、志、を、め、す、九時、春
暁、と、此、二、自、動、車、を、大隈、住、者、を、ち、山、に、送、ら
る、文的、場合、し、る、を、協、議、す、又、是、三、千、四、一、時、借
入る、昔、初、め、を、ち、山、を、通、過、す、波、害、極、め、る、を
災、後、の、市、街、と、思、い、ん、て、る、程、也、大隈、中、七、聖、王、殿、に
石、燈、籠、九、つ、の、他、に、格、好、い、る、子、ら、く、今、も、聖、王、殿、に
現、湯、を、な、さ、す、山、路、四、只、谷、の、三、河、屋、に、飲、し、て、り、す、

江平の辛形一併存標田并舊土の之状判る、東御宿
石弟く迄考し迄又↑送る、夜間寺尾元彦其汰

二十二つ

而山田中ぬま流せ、濁せ命保陰合移入を旋縁を等
しとせ日を清り、午後支を付せて外出焼跡をり
んとせ中すれ所、ちい九段坂上に判り神田の焼跡に
無殿のバツワツの白こを根をて敷し跡は、神田
由支創に後やなッバラツヲを見つ、大村御宿の意
きこと、**世間**と刻し、大崎一助の一日の記を川上
大内の御宿と見ゆるる、はるる、福の御宿より寺の
御宿の御宿し、ちいを、是年し、跡は、神田

のバツワツの御宿の御宿し、ちいを、是年し、跡は、神田
又、入ま坂、濁せに、田つ、跡金、空と見ゆし、西
の刻、赤土や、板木の家や、待合のこ、とく、在り
有りし、迹を、見こ、赤土、跡示の、破石を、流ぐ、四
又、付、赤土、出、て、更、る、四、谷、の、河、を、探、査、し、終、に、三
河、尾、に、板、木、物、ま、り、の、書、板、上、の、御、宿、支、は、其
一、と、出、た、と、見、る、り、と、迹、亦、降、支、来、り、

二十七。

是、山、田、田、一、部、貴、族、と、早、状、を、見、る、北、田、直、記、貴、族
二、部、典、を、見、る、丸、屋、濱、野、未、る、二、部、秋、吉、貴、士、と、有、る
あ、る、後、より、丹、守、修、繕、に、元、く、り、る、是、奥、の、昔、考、ら、る、と

投部の寸録奉刺達、一二取らざるも、皆余の二尺
二寸のぬき也。中々の瓦を取らざる人をきき、若干お軍
ふ、岸系出版部に入る。若くは、花尾東のラウダ
の冬外套一着注文す、價る三十圓也。兎に、合百圓也。文
三匡平の半形一件、このき増田流、後士を訪ふて、予
を、家王、匡平、心福、二行き、未ゆ、為の、電敷、を、家王、
午後、強、強、を、家王、し、夕陽、を、家王、

二十一日

日曜

曇天、雑報を、家王、中、家王、瓦、二、車、搬入、出、て、旅
樂、攻、之、物、を、購、ふ、文、三、郎、身、上、之、件、を、賀、田、道、流、を
訪、ふ、兎、同、言、十、八、廿、一、余、の、家、王、を、家王、し、夕、陽、を、家王、

海道、後、今日、漸、や、く、開、通、日、本、石、油、子、社、配、金、を、三、十、五、圓、
欲、收、

二十九日

小雨、和、田、系、を、家王、流、色、を、家王、(家、王、が、美、道、の) 松、根、
流、三、寸、の、ぬ、き、也、五、寸、半、を、家王、電、敷、を、家王、
夜、昔、洞、道、常、哉、く、ん、が、今、朝、夜、子、を、家王、言、後、七、日、
し、得、が、老、鳥、状、態、を、家王、由、以、路、前、田、地、士、を、家王、五、
半、の、六、分、を、家王、性、診、を、家王、七、寸、の、家王、東、部、情、
を、家王、海、更、し、沈、者、到、道、を、家王、取、後、其、情、を、家王、
文、三、と、八、十、圓、を、家王、抄、り、入、る、三、十、五、圓、額、入、る、三、十、
圓、引、出、す、木、崎、三、家、を、家王、山、陽、の、情、を、家王、七、寸、

○午後再び五巻の稿を閲し午前中睡眠として
めが元氣回復床上談話三十分就こころの期在功を
約し七時頃、田中後施帳を著し、文三亦匡平の傳、
舟并護士方、わく、山田海也らと復志を同くハ集
十月三日三河を洋名部(東の別)と

三十日

昨日午前一時早大園と遊遊(築山)より通牒列を十
時前田博士と秋吉次に訪れ五巻の稿を聴き去つ
つて五巻を就の折節睡眠中一時有程待り眠
の覚るるを待りて指見す、此夜茶を合し早平(復
也)一時有程待り交へて十二時(田中)復志を著し

一時を福す、文三浦和らとゆつる来り、木崎(復志)浦
田(復志)の二、此を著す、災後考すこととて、日、災
節の恩恵を録し日課五六枚、百枚計成る、小巻を
雅載ハ巻の末と九巻に亘り、九巻合のさき終る、紅
墨(馬)の百問書を通し来り、復志(復志)

三十一日

大長島

昨日森岡(復志)京都上(加)復志(復志)指し、江巻
不(復志)復志(復志)古池(復志)三(復志)古池(復志)を著す
復志(復志)著す、森本(復志)加納(復志)合(復志)也廿五日
午後早大(復志)日本(復志)復志(復志)復志(復志)復志(復志)
と復志(復志)初日(復志)一時(復志)臨(復志)復志(復志)復志(復志)

長身功重舟を飾り、早大園を後の願河を堀托
とて、余より坊の溜田七日断、しより方よりピアノ
上の舟を元寄せり。四時光を指りて出港、飛舟に
舟を飾りて、晩方、東馬に以て、五時の
病状よりお祈りし、夜二時大雨中、
震死す、長し。

の十一月

一日

雨収今朝、献者、五時、病状より、
学控領を報し、報後、お祈りし、
三電報を以て、病状を報す、文三、一件、増の
兼、初め、電信利、五、病状を、田、忠、治、報す、能、報
を、著、し、未、泥、又、次、中、舟、の、前、に、し、と、
彼、後、今、井、未、二、人、舟、舟、と、貯、る、木、崎、愛、志、
考、り、し、不、快、を、急、に、夜、二、時、に、死、す、
文三、浦、新、く、切、り、

雨收早朝坂の宅を彦人危馬を敷く未の、
 名き行く、最早馬睡状態を最前傳士
 才の注射と施し等も反応なく、尚も漸
 く八時頃也、葬儀は、余主位より七
 時頃、指圖を有し、奥の雲花子孫の擲
 こ高り、久須父子と共溺し、三日大の者後、控
 と解剖、四日午後、原所縁宮寺に控を失お
 せ奉り、其夜、有火葬、向く、其未見、附
 し五日夜、家族骨を掘り、新内、
 向くを、十一日、新内、奉葬を、
 とと法し、美く、手籠を、十時、坂の

之を去り大隈合、
 建築、
 内、
 多、
 偶、
 後、
 神、
 物、
 多、

三日

（書）

昨日早朝より早稲田大学一週年記念集會に参
りたる文を答し九時迄に成る。石塚三平、坂本の秋
族、日付出、東京、功、托と銘し、本島、愛、下
リ使、未、三、十、田、交、付、す、托、を、贈、り、未、三、十、江
成、一、と、今、多、此、の、重、要、の、件、と、電、報、を、報、し
未、三、十、時、坂、本、方、一、行、く、十二時五十分の遠藤を
解剖の為大寺彦彦と送る。献古、奥、田、石、塚
附、添、行、く、帝、道、の、橋、川、某、者、五、山、屋、の、関、應
三つき、活、流、と、女、と、一、時、三、時、活、流、を、女、に、記、せ、し
あ、坂、本、方、を、歸、し、出、版、部、に、立、寄、の、手、を、送、し、二、的
田、谷、の、三、河、局、洋、金、部、に、稿、を、渡、す、為、の、四、人、會、と

い、く、あ、田、某、者、の、由、田、道、の、尾、林、某、林、和、田、某、者、三
村、井、活、流、全、と、山、田、金、之、も、の、活、流、の、後、吸、を、と
送、り、十、時、活、流、も、小、指、某、者、私、人、五、平、の、電、報、の、五
平、之、從、五、位、を、贈、り、活、流、活、流、と、今、坂、本、島、東、海
長、田、活、流、と、其、也、

四〇

日曜

昨日早朝より、就て、早稲田大学、知、院、解剖、し、結果
を、聽、え、り、久、張、癌、症、の、あ、り、を、い、え、と、贈、り、創、し、る、を
腫、物、と、し、未、三、時、活、流、九、時、坂、本、の、名、を、印、の、決、者
花、輪、某、者、を、贈、り、往、々、の、函、信、に、強、く、も、送、印
の、由、余、と、活、流、の、後、某、者、の、手、を、送、り、印、を、寄、り

此より、田分ちるるものと云ふ、午後二時徳重寺
に去る式を行ひ、四時推車、三時海を二度候と
れと後念の火葬候とあり、一日の事多岐なるは
へる時、五時をこぼし、一二多とあり、直に終し
てくま、去月三十一日を、刑催の文の場分、後、其間
若海の御命を今方の御供候とあり、又三浦知事より
来り、今朝、此を、南義二の世系、五峯生前の家
の法名を授け、曰く、授香院、五峯居士是也、石坂
本向

五日

此の時、可多死き地震あり、と記し、石根を、左
の修理を候む、五峯病床日落り、遺詩三千首を得て

抄録す、長岡、此の二千五、其間、手形、御供候とあり、
と入、手形、曰、類、刻、引、依、頼、函、御、出、六、十、日、也、午後、又
坂口の居を、訪ふ、遺稿の詮、記と、遺、り、多、時、記、書、を
檢し、漸く、うして、御冊を得、在、嗣子、三、候、此、保、及、セ
し、あり、亦、偶々、及、不、中、に、余、の、境、し、と、遂、に、誠、行、に、私
ら、き、り、し、余、の、山、精、に、記、の、行、を、得、り、外、二、三、の、後、に
そ、と、併、せ、し、書、を、心、受、く、又、刻、平、松、應、那、一、年、刻、の
南、義、執、二、郎、と、靈、骨、に、置、酒、し、六、時、由、是、今、夜
坂、の、一、族、遺、骨、を、掘、り、た、時、中、公、の、汽、車、を、ん
ゆ、各、の、途、に、就、し、不、在、甲、木、崎、を、及、去、田、代、某、一
其、論、

八日

曇、尾崎さま、宗家の尾根を修む。又大工を遣ふ
と二三ヶ所手入を為す。五峯の哀悼、郷に収むるも
稲野の續きと自ら業す。村井鋸のらう二三日
借入約出十日廿日。又秋後出ぬるも土を寄るを
浦ふ。又寝花巻を睡ふ。玄洞の降子二枚焼ひ入る。
正午ニ業、悦楽部、由存久寛と千おれと共々
して種このものを法論す。三時ゆき、仙居の即一
出、扱をむる人、と尾家の在、老し、震後修理
の打入を為す。山陽送る録の稿を心、新居
平松進那一やも、且の使、用未満の汽車切
符と貯る来る。府税市税四日九、支納付、尾瓦

今の修理了、山の尾家の在、尾根修理、取、この
言、ま、本書の尾根分運ふ。在の破壊大工、守り
修、理、済、む。

九日

晴、実、氣、漸、く、加、る、山、易、あ、る、新、の、行、を、展、し、二、十
枚、成、る、中、田、治、君、毒、病、文、に、所、ま、と、お、り、は、二、十、九、日、也
多、●、改、口、五、峯、の、舞、臺、に、歸、ら、る、方、多、少、の、用、能、節
免、と、し、十、一、時、迄、を、は、ら、せ、お、り、午、後、二、時、の、お
を、願、ひ、田、原、君、に、酒、を、し、て、く、さ、ひ、を、ら、し、時、を
終、る、と、二、三、身、終、る、今、夜、八、時、二十、分、の、汽、車、一
つ、の、ゆ、け、の、途、に、氣、く、完、同、伴、北、行、坂、の、五、峯、一、り

葬儀：臨み二三親戚訪問あり、車中より紙巻
雪巻のゆきまきり合す

十日

晴、長岡驛を過ちり車中入り、つたまり、石巻迄
同伴八時三十分新橋：着、藤岡旅館に投す。
山田駿城河上沼屋あり、坂山系葬儀に参り、
詳細の談あり、教團：大隈侯の布文を呈下せ
んことを托し大意を授く、岡方より：坂山の談事
を語り、草子録せしむ、午後坂山の新橋を訪りて
靈位を拜す、石塚松井、物を贈る、真の今
井、えり、寺村も、仰者のうらと報せしむ、今津
去る。

十一日

小雨、早朝を起き、旅立山陽迄るを録し、石巻
三十枚を成る、高橋義彦車訪、石川園を詣
長山中推の許轉：就て之を、東京大田者三
郎、松井清五、中：電報を以て、文部省に交
渉し、之を依頼す、浅田毒城、久須美、赤三、
東、坂、光、之、石塚、行き、遠の汽船を以
て、今朝の夜泊あり、道中、五、五、

此の余の淡路四布許揚載、此紙新報して
此の文、筆記せしめ、此紙揚載しあり、五葉
の本義、筆記せしめ、一時出櫃、筆記、式を用ひ、
告別式場と共言、寺こ、余と久須美、雪をこ、八葉
別、か、か、先づ、寺こ、諸、此寺二回の火災を免
る、本を甚し、廣し、此の今、筆記、報へ、式場、花を
以て、填、ま、ま、道路、親、為、場を、築、く、定、前、の、盛、成
と、系、東、京、の、早、苗、電、報、列、り、ち、柳、寺、の、
此、云、云、^前、山、中、遊、馬、の、五、時、坂、の、方、に、招
へん、行、く、親、族、林、と、共、に、酒、巻、の、興、を、受、く、又
今夜、此、の、社、の、主、役、に、招、へん、錫、房、を、飲、む
同、し、湯、水、に、校、友、五、七、合、う、と、余、を、招、飲、例、の、こ、と

痛飲十二時迄、終、り、也、

十二日

時、風、本、同、新、在、先、身、の、評、を、今、度、政、次、郎、才、院
十、時、坂、の、書、に、行、く、遠、音、拾、ひ、の、式、あり、續、て、三、十、五、の
引、上、三、部、好、評、濟、余、も、香、典、十、回、持、卷、知、人、四、十
数、名、招、へん、郷、の、意、を、受、く、余、此、の、家、の、者、の、^死、人
の、書、款、を、捨、し、款、を、令、つ、て、一、意、の、教、正、理、を、異、
る、此、紙、濟、流、の、名、を、^招、十、村、冊、初、稿、有、ん、と、名、前、
苦、心、の、存、す、^し、^の、^り、^ん、^心、^女、の、^教、^候、と、^遺、^憾、^を
余、世、々、ら、ん、受、く、^悔、^意、^の、^上、^知、^本、^し、^て、^永、^く、^存、^せ
ん、こ、と、も、期、す、三、時、迄、飲、み、か、へ、ん、今、報、の、此、紙、揚、載

二新古今の五卷法續編と掲載す、開山山陽の
子も録す、小山三八(二二)勳(来訪果物と贈る
二三四)武夫早大(二)を以て余係証人也、高橋義
彦、岡本中(二)と来出、吉田町今井冬(二)元花義
車、高橋(二)哲、帯の菓子と録、居便りて、義彦
新、山陽社、社長死云の為、取重録、今も
二西(二)久須美、東島(二)其後任と決し、備て余と
久須美、香三、印内、高久と相談、後と云ふこと
と決し、一(二)高橋(二)知を以て、高橋、義彦、酒、
一早く寝ぬ

十三日

雨後風、早朝と山陽録の原稿を此の十数枚
成、其の桂次、今も山陽録の原稿を以て、高橋
一(二)別(二)東京(二)折(二)帯(二)の菓子と贈る、上、
永次、山陽録の原稿を以て、去、山田、義彦、
高橋、留、山陽録の原稿を以て、高橋、
す、山陽録の原稿を以て、高橋、義彦、松木、
山陽録の原稿を以て、高橋、義彦、
山陽録の原稿を以て、高橋、義彦、
一(二)電燈(二)故障(二)と生ず、瞬間を用て、
今、山陽録の原稿を以て、高橋、義彦、
高橋、義彦、山陽録の原稿を以て、高橋、
高橋、義彦、山陽録の原稿を以て、高橋、

の路に遠く晴くさるるのこし行牛とくし大星おち
てし

十四日

雨風、後快霽、朝、早、旅、定、無、事、田、之、業、所、に、親、し、又、
旋、乘、を、録、す、田、中、今、朝、去、り、陣、室、に、居、り、行、旅、未、だ、
関、太、郎、も、し、来、出、丹、兵、原、平、大、隈、房、舞、之、を、あ、り、
松、井、神、沈、意、の、并、に、子、息、妻、あ、り、物、を、贈、り、午、後、
光、を、持、り、松、林、を、訪、ひ、又、松、井、方、を、訪、ふ、ゆ、有、松、木、
弘、来、り、中、山、権、一、件、有、り、内、務、部、長、河、内、の、頼、其、
を、語、り、書、札、の、事、々、を、ま、り、一、語、を、喫、り、七、時、松、
木、に、招、へ、松、原、尾、に、飲、み、石、塚、七、来、り、酣、醉、十、三、時、

旅宿の由り

十五日

雨風、晴、四、三、部、の、訖、別、久、須、美、秀、三、部、より、来、書、
右、龍、九、時、十五、分、先、去、回、の、今、井、を、訪、問、の、筈、哉、未、白、山、浦、
ま、も、見、送、る、古、柳、馬、垣、村、上、の、溝、濱、合、に、踏、取、為、の、
今、朝、物、色、に、着、看、す、在、京、也、也、状、を、見、ん、事、
礼、三、吉、田、初、男、来、訪、古、柳、と、名、を、興、り、終、
二、石、塚、を、送、り、九、時、五、十分、瀬、波、に、行、ん、こ、と、を、
決、す、余、村、上、(織、屋) 瀬、波、中、途、以、西、寄、つ、て、一、回、七、
時、迄、を、行、瀬、波、の、湯、泉、七、末、に、一、宿、を、籠、り、お、り、
明日、卯、辰、丹、兵、訪、問、の、便、宜、也、也、人、心、促、付、の、也、

を概し、此行を改めて、此の終り、西風汽車中、風
景を賞するも、あつ不便を感じ、又刻村上、
着、自動車と備を、激波、行、途中自動
車故障を生じて、進まず、助車、乗換、潮
波、長直、亭、着、此、流、故、市、此、中、の、経
歴、係、り、た、り、し、其、密、維、持、續、す、余、兄、
こと、二十、餘、年、お、見、て、出、志、七、類、年、と、次、三、四、村
上、の、西、の、有、志、長、事、は、進、山、金、を、道、の、大、い、な、運
を、張、り、故、を、根、き、計、略、一、故、の、爲、を、以、て、す、て、枕、店
舟、を、解、放、す、夫、れ、も、激、烈、力、を、き、と、な、る、の、を、問、
の、爲、の、一、杯、睡、也、との、事、此、地、の、浪、の、恒、分、は、香
の、無、異、余、物、之、ん、と、ま、う、こ、う、さ、ぶ

十二

而、風、寒、甚、骨、に、徹、り、子、紀、一、浴、村、上、の、あ、ま、り
余、の、方、を、治、め、又、各、扇、雨、四、を、揮、き、し、其、に、村、上、停
津、物、を、も、時、九、時、三、十、分、の、時、に、此、の、お、氣、を、解、
か、車、中、獨、を、閑、ま、眠、り、ま、り、の、時、を、味、か、
中、全、に、下、車、し、其、に、空、車、舟、を、功、め、舟、具、を、信
午後、余、を、祈、り、に、泊、り、し、て、用、を、中、ま、り、し、而、
亦、あ、ま、り、と、話、す、午、時、舟、具、の、舟、具、を、交
け、三、時、舟、具、に、せ、に、舟、具、に、こ、ろ、に、舟、具、を、交、
今、初、次、舟、具、の、舟、具、に、舟、具、を、交、
舟、具、を、交、舟、具、を、交、舟、具、を、交、舟、具、を、交、
舟、具、を、交、舟、具、を、交、舟、具、を、交、舟、具、を、交、

いらし物をおろす。

十七日

漸やく晴明を得る。今朝の大波の勢も少し、校友岸本
市太郎の訃を傳り、劇をきく。出陣をみる。丹島原
平舟の遺物を贈る。吉光を留りて久須美あきら
を女中村に泊らんと白山浦停車場に赴く。鐵道會
社の社員出迎。フリーパス券に書あり。此後一
時を贈る。車中一人無く無聊を感ずる。手帳の宛
文を録し、夕時を移す。十一時、山崎谷に着。久須美
より迎の幼車来る。吉光を乗せ、利の里。輕井澤
町。余の久須美を留りて泊らんと。二回ある。三平

年のも熊に宿す。村の垣垣七多の妻。夏代。久
須美と婦。朝の款待。珍貴の土産を多く示さ
ず。舟の御いさ。受け付。後、裏山に登り、元の
地形を利し。二十年新庭を心り。来り。元の
めをき。朝の興味を先へ。夕、三時。辭し。日四十分
の汽車も。新井。こころ。偶に。跡。沼。卯。市。と。車
家。を。同。め。し。他。こ。人。ら。き。五。半。鐘。死。後。の。さ。う。を。説。す。
白山浦停車場に着。吉光を乗せ、利の里。輕井澤
町。余の久須美を留りて泊らんと。二回ある。三平
と。お。ろ。す。石。在。守。吉。橋。義。我。彦。と。自。宅。を。本
お。と。清。ふ。の。電。信。局。を。し。の。り。百。三。番。を。と。り。し
直の山中。梅。こころ。を。云。々。す。

雨上坂鐵道(南魚沼)の塩沼の町に開通す。此日
 京(山形)部の官舎より廿日大隈氏傳記編纂人等
 リ共に出発不能の電報をみる。朝倉後之を
 伴して湯川の真崎を訪ふ。仙車も一時半を費
 す。朝倉實氣加ふる風物も荒ぶ。真崎方に
 午時の響きを告げ去りて後仲たりの
 畫堂を訪ひ三時先と先着し途中海元
 へ漱高橋義彦を過き近年改築の名を
 と見接上。杯を承けて種々談論夜に今話
 して新沼に歸る。先七前刻歸着しあつた
 為路入車乗官の色状利未、不在中関方へ

二八

吉田和男より物を贈り来た。又上野喜ぶ
 より古本二三贈る。山中推し未也。

十九日

時感冒の如く一室に居る。雑報を平し。又上
 野黙狂に魂を憑して扇面に揮毫も。関大印よ
 リ耳者、上野黙狂未也。常用の巻物をラリメント車
 車に於て其後全くとおきながら此地に荒干を得たるを
 以咳嗽成免可んとい服を試ふ。久須美東馬加賀栗
 三耳の昔の百、直う新沼港に経管を多々を採取す
 古人を了後山中推し未也。真崎桂次郎より白菜
 の漬物を贈る。石塚来り、ワケケン注射を乞ふ。

今夜も柳馬位内京、余の河内津在、意おこさひさ
東帰を欲さんど、元の蓮牙の沈療未比、多分
尚又石塚と余の蓮牙を捨し、打捨、互く、可
と云ふ、所ろとも、あ、この沈療を、治ふ、こと、可
廿二日、次、述、為、津、港、と、決、す、國、冒、日、為、早、く、出、
す

二十日

拂曉、雷、降、り、次、く、雨、風、を、以、て、し、天、候、亦、更、す、東、京
宅、一、と、表、し、廿、三、日、述、津、港、を、報、す、直、此、中、六、日、
、枝、間、旅、室、控、録、を、書、下、す、山、田、穀、城、を、祝、き、
一、三、時、要、い、ち、を、治、す、又、五、峯、地、念、録、を、案、を、三、つ

一八四

午後、西、浦、原、部、水、澤、新、田、の、作、務、忠、三、の、柳、井、郡、治、
の、如、く、可、も、年、持、二、時、過、石、塚、方、一、刻、り、蓮、牙、の、沈、
療、を、更、く、本、日、右、下、才、一、回、速、の、廣、行、を、除、却、
す、白、日、の、後、行、を、要、す、高、橋、長、彦、も、廿、三、日、
直、に、差、を、も、り、す、又、次、美、米、三、郎、丹、美、彦、平、に、
出、就、を、告、げ、

二十一日

晴、又、雨、今、朝、九、時、改、日、也、山、田、穀、城、川、上、法、師、と、合、
紀、屋、和、出、版、の、事、に、つ、き、疑、城、の、後、未、定、の、治、に、あ、り、
也、を、捨、す、世、紙、の、治、備、の、為、の、此、方、と、借、受、し、
四、五、日、十、冊、を、一、故、に、家、不、花、の、い、も、も、換、別、す、余

とて傍しむるに、谷成海堂文集、丹美の事、徳川
の鈴木士海の事、引元、丹美、原平、と云ふ人、
五峯遺墨、一枚坊の愛く、十二時、静も石塚
方、行く先、西洋料理、記を詢す、石塚、主人と、午、
を、其、事、の、後、石塚、の、為、の、書、函、板、十、数、匣、の
題、書、を、する、事、三、時、止、歯、の、流、産、を、多、く、付、衣、上
大、印、齒、悉、く、廣、朽、を、全、部、除、き、去、り、前、歯、小
毎、の、加、工、す、る、事、有、り、又、刺、腕、金、く、の、事、有、り、
多、石、塚、の、野、菜、を、贈、り、來、り、山、中、植、し、雪、隠、来
り、新、清、朝、の、事、方、比、る、に、注、意、し、為、上、の、事、有、り、
考、究、を、怠、れ、せ、り、

二十二日

小雨、朝、の、旋、風、を、著、す、其、時、村、治、り、有、り、多、の、流、し
て、別、上、の、點、報、余、も、以、紙、野、菜、を、求、り、料、有、り、山
田、敷、城、を、掘、き、五、峯、の、印、齋、の、つ、き、一、時、可、致、珍
の、紀念、板、に、扱、り、る、を、材料、也、古、田、の、と、井、未、之、人、を
世、を、傳、へ、て、其、の、功、編、編、一、巻、の、題、を、午、の、事、を
供、す、午、後、完、を、井、に、付、り、て、市、中、に、出、り、吉、橋、義
三、房、野、澤、卯、市、其、法、東、家、宅、より、電、行、為、坊、方
田、利、達、野、澤、外、三、子、の、や、と、博、道、元、今、夜、紅
梅、石、塚、松、木、忘、川、招、飯、研、解、十二、時、由、臥

二十三日

雨宿解とて元印酒を試み、四五枚、小匙指さし、其
時桂酒とて家言流儀に功あり長時洞流しに利づくに
午又酒杯に就し、即ち新物寄る行李をとく、不荒
川酒二斗、物と貯る、石塚より物と贈り来る、帰
世衣為物云と大也、皆良物、石塚より功、今次の物寄
時在二通りを紙より、高野、物定、三つ、六月、奈良
五月、四月、廿心、廿月、廿心、信楽、物、其、物、在、功、
即ち、五月、廿心、廿月、廿心、信楽、物、其、物、在、功、
来る、佛に、松井、新、法、出、京、に、め、南、家、を、同、の、す、
六時、物、寄、行、く、帰、京、の、途、に、就、く、

二十四日

六日、朝七時上り、既着、自、初、車、と、儀、い、為、物、を、満
氣、も、う、り、不、在、中、の、家、路、を、見、る、在、外、烟、山、を、
ち、り、吹、有、三、と、し、浦、息、を、し、初、田、米、吉、帝、大
田、主、長、解、任、と、も、利、了、中、山、推、進、道、に、
関、する、六、日、為、る、中、の、出、物、信、用、法、を、又、関、太
郎、の、出、物、其、地、十、枚、也、廿、心、廿、月、廿、心、廿、月、廿、心、
文、合、も、し、元、印、酒、廿、心、廿、月、廿、心、廿、月、廿、心、
一、麦、酒、を、打、江、島、栗、林、平、一、と、し、味、喝、
法、を、勝、る、二十七日、即ち、新、物、寄、る、の、監、査、今、二
十日、孝、田、廿、心、廿、月、廿、心、廿、月、廿、心、廿、月、
物、寄、る、廿、心、廿、月、廿、心、廿、月、廿、心、廿、月、
今、と、開、く、と、を、約、す、萬、地、變、為、變、態、と、し、物

と贈る又大改三川民即ち 震災兄弟と
物を贈る不在中内子此の為とオートバイを
贈る内子贈る金と仕掛 是れ本邸別荘家
根修理代尾尾く百九千円物押論和四萬五
口献言と出状を呈し不用古瓦を切三十五
を得松井邸法事論

廿五日

雨時微雪あり坂口献吉来論一身上の事を云す
五峯 百五元之論好二代衣類と家花と淵
類函全部 庚のトタンヤ一此の并合う来風を
存根と記し進く雨極に及ぶ増子と一印来論

一印

酒造一葉一冊 是康平の記ありと云ふ
隆一の訃報 関たより来也 京都市外山
和村喜洞字 永興寺住持村上宗道と云ふ
蓮月尼全集のキ 家持出簡の字を徴し
来ると云ふ。フライス 此橋本にお茶飲に招く
風神の以て行ふ 和四著来論 同と云ふ
退職の件ありと信と云ふ 置酒 晩會を具
しと云ふ。

廿六日

此節 景義 小澤隆一 死云 吊状と云ふ
此桂次中 浅野 毒城 出状と云ふ 高須 梅屋 行村

宗八春望三十日迄午後大田為三郎と高島大
學の邸の初田の件を御座し二時素田君は
の義徳の邸(傍近)有橋義彦とて来た
何れも又来た。和田當夫とて来た

廿七。

時、又和田當夫を引来た。松島董陽・佐野君も石
狩の意を引来た(引来た)田中穂積も引
大隈侯に引来た納付金交渉経緯と其時言
今聴取十一時より印刷局北の監査會に
出午後出陣部橋上・大隈侯の信託會に
今も出陣部、又出版部の事と云ふし夕刊物書、有橋

義徳の邸に引来た。早大維村も来た
報吉引来た。本の出版部配分三刻の印刷局
社一割五分の内定。即日七長噴車と大隈に赴
く。

後田

二十八日

陰、大田為三郎来て有る。和田當夫も引上
り、同邸に御座る。今後とも書を御座る
矢吹君三ノ有初田の件を御座る。坂口
敬吉も引来た。五時、之邊橋橋上、全部
山本君も引来た。印漢君も引来た。高島君も引
入る。傍る十五日。中田強君も引来た。三三

来る、高橋義彦を春分買録込附入書
干後而多、文三三、八十四交付、和田常五橋井坊
五印に山状を巻る、雨忘五奉の遺稿を換す
北城詩話初稿本製本成書本十四冊也、石塚
三郎に山状を巻る、和田常五を巻る、今津
三注文の木炭五俵別達、再々和田常五に巻る

廿九日

坊、六吹の物類を祝す、酒と料進を賜ふ
山本書名に山状を巻る、又今津八二二間、森
脇分、森友、森友、木田為三印に山状を巻る、森友
文庫に電流来る、明和徳川炭井河の多法、

十一の巻

新沼山中推し、其出、閑に伯を法帖と換
し十数帖題、書と巻、又雜録を巻る、
出政部らに余の著述印税六十一回二十一頁(四月
より九月に至る)本の欲者、和田常五に巻る、
至三十四回今津炭代内子、交付、高橋義彦に
山状を巻る、

三十日

時、今朝七時、日動車を起し、徳川頼倫、
我多長坊の南蔵文三庫、一泊して、和田常五、
飯長の北、退河、三間し、帝大の冷島を云、し
回、山状の執り、高橋、高橋、高橋、高橋、高橋、

寺待通等を内渡三時百にせり。差出仕の後
 高止より楊井と楊生御車のみを觀遊し三時
 由里河部台前、瀨西を由り、外出ヤ、河内総
 本坊、西化庵、注文の冬外套出来、昂の分
 世代金二百三十圓拂込、和同萬五、五圓を
 可、古池書三、二、新三印二、類、糸、二、函、冊、代、半、圓
 拂入、由、爲、久、寛、と、電、話、を、交、由、松、枝、保、次、報
 知、社、り、と、洋、行、由、を、金、七、五、圓、出、是、れ、告、め、の
 五、圓、別、り、大、田、爲、三、中、二、圓、し、り、総、裁、助、の、り
 仕、末、を、報、知、和、同、萬、五、と、し、ま、也、今、の、南、英、文、庫
 説、説、堂、三、十、圓、と、二、五、圓、石、器、類、を、一、覧、す、所
 謂、銅、駟、陳、列、館、の、り、也、日本石器類大略、依、り

在ハ、電、氣、後、南、分、南、英、文、庫、の、り、と、三、五、圓、ブ
 リキ、職、受、頁、九、十、圓、拂、込、電、氣、修、補、是、も、大、略、の、り
 後、續、和、四、り、使、者、の、り、の、り、午後、五、時、を、報、知、米

十二月以前、海、則、冊、に、記、す

以下全て
白紙

